

B

セミの 鳴き声調べ

鳴き声の情報を集めることで、地域ごとの自然の様子を探ります。たとえば、セミが鳴いていなかったり、1種類の声しか聞こえない地域には、セミがすむ林がほとんどないでしょうし、たくさんの種類の声が聞こえれば豊かな林が残っているはずです。また、日本の風物詩の一つであるセミの声が聞こえなくなってしまった地域がどれくらいあるのかを知ることによって、日本全国の自然の様子をつかむことができるのではないのでしょうか。

この調査では、初鳴きの情報（今年始めてその種類の声を聞いた日付についての情報）もお寄せいただきます。これは気温によってセミの羽化がどのように影響するかを知ろうとするものです。また、「サクラ前線」ならぬ「セミ前線」がくれたらいいなとも思っています。

調査する場所

調べる場所はどこでもかまいません。もちろん、1カ所だけでなくいくつかの場所を調べていただいても結構です。

調べる時期や回数

調べる時期は、7月上旬から9月上旬が適当です。回数は時期をずらして2回から3回ぐらい調べてください。なお、初鳴きはこの時期よりも早いと考えられますので、気がついたところで記録するようにしてください。また、もっと早い時期に初鳴きを聞いた方は覚えている時期を調査票に書いてください。



まちがえやすい鳴き声

セミの鳴き声は種類によって特徴があり、ミンミンゼミなど和名の由来になっている種類も少なくありません。しかし、多くの種類がいくつかの鳴き方をしたり、アブラゼミやニイニイゼミなど、似たような鳴き声に聞こえる種類が同じ場所にいたりします。鳴き声は慎重に聞き分けてください。

調査票の記入方法

- 調べた場所ごとに1枚記入してください。
- 5番目の項目は、聞こえた種類すべてを記入します。また、鳴き方は、あなたが聞いた鳴き声を記入します。その声の主の名前がわかれば名前の欄に種名を記入してください。
- 初鳴きを調べる種類は地域によって決まっています。調査票に書いてある種類以外は、記入する必要はありません。

[調査票の記入例]

調べる場所を1ヶ所決めてください。何ヶ所かの場所で調べた方は、場所ごとに1枚ずつ調査票を使ってください。

参加者番号は、調査資料をお送りした封筒の、宛名ラベルに印字されています。

B **身近な生きもの調査 '95** **鳴き声調べ調査票**

※ここには記入しないでください

参加者番号: 0130038240
氏名: 山川みどり

※■3～■6は、ご自分で決めた場所で何回か調べてから記入してください。

■1 どこで調べましたか?
(それぞれ歩いて10分ぐらいの範囲)

①	自宅の近く
②	学校の近く
③	職場の近く
④	橋や先
⑤	その他()

■2 その場所の住所を書いてください。

都道府県: 都・道・府・県
郡: 郡 (郡のある場合はのみ記入)
市町村: 市・町・村 (特別区の場合は省略)
区: 区 (特別区・支庁毎区別の場合のみ記入)

■3 その場所の近くでセミの声が聞こえますか?

はい いいえ

■4 何種類ぐらいのセミの声が聞こえますか?

種類

■5 そのセミの鳴き声と、分かる方は名前を書いてください。

	鳴き方	名前
①	ジージー	アゲアゲセミ
②	ミンミン	ミンミンゼミ
③		
④		
⑤		
⑥		

■6 つぎのセミの鳴き声が聞こえる方で、今年になってはじめてその声が聞こえた時期を覚えている方は、月上中下旬(はっきり分かる方は日まで)を書いてください。場所は、■1～■5と同じ場所です。

セミの名前	初めて聞いたのは
① ビグラシ	(月)上・中・下旬(日)
② ミンミンゼミ	(7月)上・中・下旬(20日)
③ クマゼミ	(月)上・中・下旬(日)
④ ツクツクボウシ	(月)上・中・下旬(日)
⑤ クマゼミ	(月)上・中・下旬(日)
⑥ クロイワツクツク	(月)上・中・下旬(日)
⑦ オオシマゼミ	(月)上・中・下旬(日)
⑧ イワサキゼミ	(月)上・中・下旬(日)
⑨ オカサワラゼミ	(月)上・中・下旬(日)

鳴き声が聞こえた種類をすべて記入してください。

ここにあげられた種類だけを調べてください。

※もし足りなくなったら、コピーして使って下さい。

当てはまる項目だけを記入してください。